



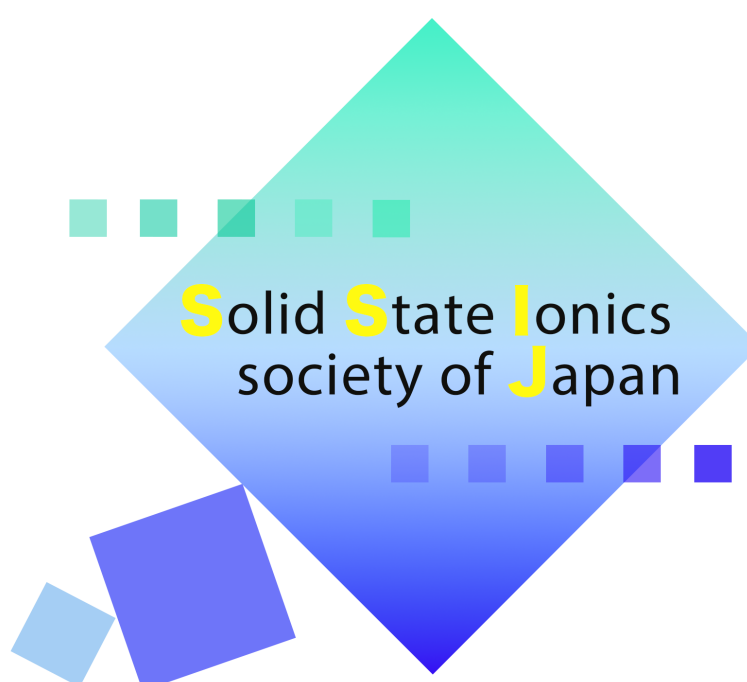
一般社団法人
日本固体イオニクス学会

The Solid State Ionics Society of Japan

SSI-J Letter No.101

CONTENTS

目次	1
2021(令和3)年度予算報告	2
第11回総会報告および決算公告	3
第79回固体イオニクス研究会報告	10
第23回超イオン導電体物性研究会 (第80回固体イオニクス研究会)報告	11
第47回固体イオニクス討論会報告	12
第48回固体イオニクス討論会開催のご案内	13
第82回固体イオニクス研究会開催のご案内	14
第16回固体イオニクスセミナー開催のご案内	15
お知らせ	16
本年度年会費・連絡事項	17



2021(令和3)年度予算報告

本法人理事会において、2021(令和3)年度予算が承認されましたので、ご報告申し上げます。

経常収益

①受取会費	¥1,065,000	
個人社員会費		¥195,000
個人会員会費		¥570,000
法人会員会費		¥300,000
②事業収益	¥3,203,000	
第47回固体イオニクス討論会		¥1,293,000
第79回固体イオニクス研究会		¥80,000
第80回固体イオニクス研究会		¥180,000
第81回固体イオニクス研究会		¥180,000
第16回固体イオニクスセミナー		¥1,470,000
③雑収益	¥16,000	
要旨集		¥15,000
受取利子		¥1,000
経常収益 計	¥4,284,000	

経常費用

①事業費	¥4,213,000	
第47回固体イオニクス討論会		¥2,000,000
第79回固体イオニクス研究会		¥83,000
第80回固体イオニクス研究会		¥330,000
第81回固体イオニクス研究会		¥330,000
第16回固体イオニクスセミナー		¥1,470,000
②管理費	¥774,000	
会議費		¥90,000
印刷製本費		¥0
旅費交通費		¥60,000
謝金		¥0
給与		¥0
通信費		¥100,000
消耗品		¥10,000
委託費		¥324,000
雑費		¥20,000
予備費		¥100,000
租税公課		¥70,000
経常費用 計	¥4,987,000	
当期経常増減額	(¥703,000)	
一般正味財産期首残高	¥10,284,827	
一般正味財産期末残高	¥9,581,827	

第11回総会報告

2021(令和3)年12月9日に定時総会が行われました。

第1号議案 2020(令和2)年度(2020(令和2)年10月1日～2021(令和3)年9月30日)
事業報告、収支決算の承認および監査報告の件：承認

第2号議案 2020(令和2)年度収支差額の全額を2021(令和3)年度に繰り越す件：承認

2020(令和2)年度事業報告

(2020(令和2)年10月1日～2021(令和3)年9月30日)

理事会・総会(理事会・総会の回数は法人設立以降の通し番号)

第45回理事会	2020(令和2)年	10月23日～10月29日	電磁的方法
第46回理事会	同	11月18日	電磁的方法
第47回理事会	同	12月8日	定時(ハイブリッド開催)
第10回総会	同	12月9日	定時(ハイブリッド開催)
第48回理事会	同	12月9日	電磁的方法
第49回理事会	2021(令和3)年	1月26日～1月27日	電磁的方法
第50回理事会	同	6月11日～6月14日	電磁的方法
第51回理事会	同	7月30日	電磁的方法
第52回理事会	同	9月8日～9月9日	電磁的方法

研究会・討論会

第46回固体イオニクス討論会

日 時：2020(令和2)年12月8日(火)～9日(水)

世話人：東京工業大学 菅野 了次 氏

場 所：WEB開催

講演数：84件

(一般講演72件, 特別講演2件, ヒドリドイオニクス特別セッション10件)

参加者：279名(内予約198名)

第77回固体イオニクス研究会

日 時：2021(令和3)年1月23日(土)

世話人：学習院大学 稲熊 宣之 氏

場 所：WEB開催

講演数：5件(招待講演5件)

参加者：41名

第78回固体イオニクス研究会(第1回計算イオニクス研究会)

日 時：2021(令和3)年7月28日(水)

世話人：ファインセラミックスセンター 桑原 彰秀 氏

場 所：WEB開催

講演数：5件(招待講演5件)

参加者：63名

共催・協賛等関連事業**【協賛】第48回先端科学セミナー 電気化学のための計算化学入門**

主 催：(公社) 電気化学会関東支部
日 時：2020(令和2)年11月10日(火)
場 所：WEB開催

【協賛】第61回電池討論会

主 催：(公社) 電気化学会電池技術委員会
日 時：2020(令和2)年11月18日(水)～20日(金)
場 所：WEB開催

【協賛】第61回高压討論会

主 催：日本高圧力学会
日 時：2020(令和2)年12月2日(水)～4日(金)
場 所：WEB開催

【協賛】第56回学際領域セミナー 一日でわかる全固体電池

主 催：(公社) 電気化学会関東支部
日 時：2020(令和2)年12月11日(金)～12月17日(木)
場 所：WEB開催

【協賛】新学術領域研究「蓄電固体界面科学」成果報告会

主 催：新学術領域研究「蓄電固体界面科学」
日 時：2021(令和3)年3月20日(土)
場 所：WEB開催

【協賛】第57回学際領域セミナー 全固体電池研究の最前線

主 催：(公社) 電気化学会関東支部
日 時：2021(令和3)年9月7日(火)
場 所：WEB開催

【協賛】「蓄電固体界面科学」第3回公開シンポジウム

主 催：新学術領域研究「蓄電固体界面科学」
日 時：2021(令和3)年9月16日(木)
場 所：WEB開催

その他**ニュースレター発行**

2回 (2020(令和2)年10月30日, 2021(令和3)年7月7日)

会員異動 (2020(令和2)年10月1日～2021(令和3)年9月30日)

2020(令和元)年10月1日現在：法人6社, 個人235人 (名誉会員を含む)
入会：法人0社, 個人10人
退会：法人0社, 個人6人
2021(令和2)年9月30日現在：法人6社, 個人239人 (名誉会員を含む)

決算公告

法人法に従い、定時総会の承認を受けた決算を電子公告しております。
 本法人のウェブページ <http://www.ssi-j.org/> に掲載しております。

貸借対照表

令和 3年 9月30日現在

一般社団法人日本固体イオニクス学会
 一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,399,258	10,999,737	1,399,521
現 金	104,719	92,724	11,995
普 通 預 金	8,127,420	2,552,983	5,574,437
郵 貯 振 替	4,167,119	8,354,030	△ 4,186,911
流動資産合計	12,399,258	10,999,737	1,399,521
資産合計	12,399,258	10,999,737	1,399,521
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	330,000	330,000	0
前 受 金	51,500	0	51,500
未 払 法 人 税 等	35,000	35,000	0
流動負債合計	416,500	365,000	51,500
負債合計	416,500	365,000	51,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	11,982,938	10,634,917	1,348,021
正味財産合計	11,982,758	10,634,737	1,348,021
負債及び正味財産合計	12,399,258	10,999,737	1,399,521

正味財産増減計算書

令和 2年10月 1日から令和 3年 9月30日まで

一般社団法人日本固体イオニクス学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[1,154,000]	[1,052,000]	[102,000]
個 人 会 費	754,000	793,000	△ 39,000
法 人 会 費	400,000	259,000	141,000
事 業 収 益	[1,884,000]	[2,706,170]	[△ 822,170]
参 加 費	(1,834,000)	(1,907,670)	(△ 73,670)
会 員	495,500	382,500	113,000
共 催 ・ 協 賛	323,000	470,670	△ 147,670
一 般	378,000	306,000	72,000
学 生	287,500	188,500	99,000
展 示	350,000	560,000	△ 210,000
会 議 費	0	798,500	△ 798,500
助 成 金	50,000	0	50,000
雑 収 益	[24]	[3,023]	[△ 2,999]
要 旨 集	0	3,000	△ 3,000
受 取 利 息	24	23	1
経常収益計	3,038,024	3,761,193	△ 723,169
(2) 経常費用			
事 業 費	[1,145,406]	[2,703,620]	[△ 1,558,214]
会 議 費	25,065	1,599,367	△ 1,574,302
印 刷 製 本 費	55,110	426,450	△ 371,340
旅 費 交 通 費	0	109,188	△ 109,188
謝 金	412,901	374,749	38,152
通 信 費	16,518	336	16,182
消 耗 品 費	0	28,270	△ 28,270
委 託 費	583,000	154,000	429,000
雑 費	52,812	11,260	41,552
管 理 費	[474,597]	[637,663]	[△ 163,066]
会 議 費	19,668	57,147	△ 37,479
旅 費 交 通 費	0	54,560	△ 54,560
通 信 費	89,138	95,076	△ 5,938
消 耗 品 費	6,160	6,946	△ 786
委 託 費	330,000	396,000	△ 66,000
雑 費	29,631	27,934	1,697
経常費用計	1,620,003	3,341,283	△ 1,721,280
評価損益等調整前当期経常増減額	1,418,021	419,910	998,111
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,418,021	419,910	998,111
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人 税 等	[70,000]	[70,000]	[0]
当期一般正味財産増減額	1,348,021	349,910	998,111
一般正味財産期首残高	10,634,917	10,285,007	349,910
一般正味財産期末残高	11,982,938	10,634,917	1,348,021
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,982,938	10,634,917	1,348,021

(一社)日本固体イオニクス学会 社員

会 長・代表理事	石 原 達 己	(九州大学大学院工学研究院)
副会長・理事	雨 澤 浩 史	(東北大学多元物質科学研究所)〔事務局担当〕
〃	小 林 哲 郎	((株) 豊田中央研究所)
理 事	今 西 誠 之	(三重大学大学院工学研究科)
〃	寺 部 一 弥	(物質・材料研究機構)
監 事	安仁屋 勝	(熊本大学大学院先端科学研究部)
〃	山 田 淳 夫	(東京大学大学院工学系研究科)
社 員	稲 熊 宜 之	(学習院大学理学部)
〃	稲 葉 稔	(同志社大学理工学部)
〃	入 山 恭 寿	(名古屋大学大学院工学研究科)
〃	白 杵 毅	(山形大学理学部)
〃	宇 田 哲 也	(京都大学大学院工学研究科)
〃	内 本 喜 晴	(京都大学大学院人間・環境学研究科)
〃	大久保 將 史	(早稲田大学先進理工学部)
〃	奥 村 壮 文	((株) 日立製作所・日立研究所)
〃	奥 山 勇 治	(宮崎大学工学教育研究部)
〃	小 俣 孝 久	(東北大学多元物質科学研究所)
〃	川 田 達 也	(東北大学大学院環境科学研究科)
〃	桑 田 直 明	(物質・材料研究機構)
〃	桑 原 彰 秀	((一財) ファインセラミックスセンター)
〃	小 林 玄 器	(理化学研究所)
〃	高 田 和 典	(物質・材料研究機構)
〃	高 橋 東 之	(茨城大学大学院理工学研究科)
〃	高 村 仁	(東北大学大学院工学研究科)
〃	忠 永 清 治	(北海道大学大学院工学研究院)
〃	辰巳砂 昌 弘	(大阪公立大学)
〃	館 山 佳 尚	(物質・材料研究機構)
〃	獨 古 薫	(横浜国立大学大学院工学研究院)
〃	中 村 浩 一	(徳島大学大学院社会産業理工学研究部)
〃	野 村 勝 裕	(産業技術総合研究所)
〃	幅 崎 浩 樹	(北海道大学大学院工学研究院)
〃	林 晃 敏	(大阪公立大学大学院工学研究科)
〃	一 杉 太 郎	(東京大学大学院理学系研究科)
〃	平 山 雅 章	(東京工業大学物質理工学院)
〃	堀 毛 悟 史	(京都大学高等研究院)
〃	堀 田 照 久	(産業技術総合研究所)
〃	松 尾 康 光	(摂南大学理工学部)
〃	松 本 広 重	(九州大学カーボ・ニュートラル・エネルギー国際研究所)
〃	光 岡 健	(日本特殊陶業株式会社)
〃	守 谷 誠	(静岡大学学術院理学専攻)
〃	水 谷 安 伸	(産業技術総合研究所)
〃	八 島 正 知	(東京工業大学理学院)
〃	藪 内 直 明	(横浜国立大学大学院工学研究院)
〃	山 崎 仁 丈	(九州大学 稲盛フロンティア研究センター)
〃	山 田 博 俊	(長崎大学大学院工学研究科)

(一社)日本固体イオニクス学会 名誉会員

山 本 治	(三重大大学名誉教授)
岩 原 弘 育	(名古屋大学名誉教授)
服 部 武 志	(元東北大学教授)
小久見 善 八	(京都大学産官学連携本部)
今 井 淳 夫	(元愛知工業大学参与)
南 努	(大阪府立大学名誉教授)
小 林 迪 助	(新潟大学名誉教授)
水 崎 純一郎	(東北大学名誉教授)
武 田 保 雄	(三重大大学名誉教授)
横 川 晴 美	(東京大学生産技術研究所)
山 口 周	(大学改革支援・学位授与機構)
河 村 純 一	(東北大学研究推進支援機構)
菅 野 了 次	(東京工業大学科学技術創成研究院)
江 口 浩 一	(京都大学名誉教授)

第79回固体イオニクス研究会報告

世話人 九州大学エネルギー研究教育機構 山崎 仁文

第79回固体イオニクス研究会が、2021年11月17（水）にオンライン開催されました。本研究会は、岩原先生らによる1981年のプロトン伝導体の発見から40年後となる本年において、「プロトン伝導体の研究最前線」―機械学習や第一原理計算を活用した材料開発の新たな潮流と燃料電池開発の現状、課題および今後の方向性―をテーマとして、大学から4件、企業からの1件の招待講演が行われました。講演における一人当たり25分の発表時間に対して25分の討論時間を設けることで、参加者（42名）が深く議論できるようなプログラムとしました。

5名の招待講演では、新規プロトン伝導性材料の開発から、理論計算によるプロトン伝導の基礎的解釈、デバイス化および社会実装に向けた課題まで幅広くご紹介いただきました。東京工業大学の八島正知先生に結晶構造に含まれる本質的な酸素空孔を活用した高速プロトン伝導体の開発について、最新の材料探索成果を含めてご紹介いただきました。九州大学の兵頭潤次先生には実験データと機械学習を活用して、少ない試行回数で新規材料を探索する手法について解説いただきました。山形大学の笠松秀輔先生には、スーパーコンピュータを用いた第一原理計算と動的モンテカルロ法を組み合わせた手法により、有限温度のプロトン伝導体における格子欠陥配置を計算する手法し、水和反応に寄与する酸素空孔を特定した結果についてご紹介いただきました。北海道大学の青木芳尚先生には、プロトン伝導セラミックス燃料電池(PCFC)のカソード―電解質界面に存在する界面抵抗とその低減するための緩衝層探索の成果をご紹介いただきました。最後に、パナソニックホールディングスの山内孝祐博士には、現状企業で開発しているPCFCの燃料利用率、発電効率のベンチマークや性能向上に向けた課題についてPCFC社会実装に向けた企業の視点からご講演いただきました。25分という長時間に設定された議論時間にも関わらず、1度も質問が途切れることなく、ベテラン、若手、学生の身分に関係ない活発な議論がなされました。



研究会集合写真 (Webex 会議にて)

最後に、お忙しい中、本研究会に参加していただきました方々、また開催にあたり大変お世話になりました日本固体イオニクス学会会長の石原達己先生、日本固体イオニクス学会事務局の新井様および関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

第23回超イオン導電体物性研究会(第80回固体イオニクス研究会)

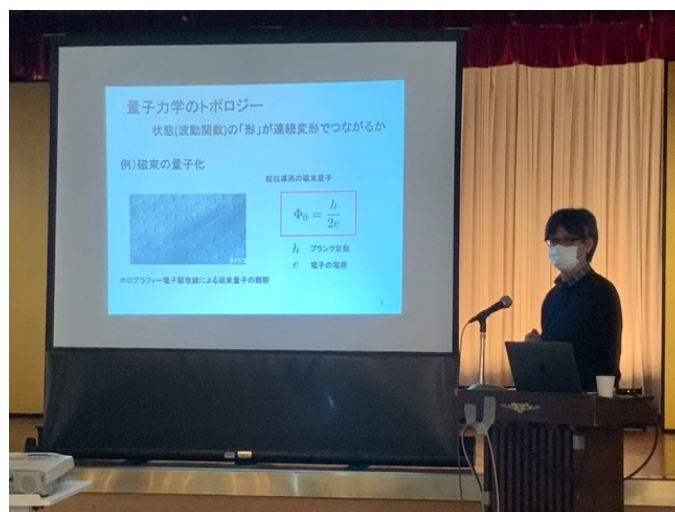
世話人 摂南大学 神嶋 修, 長島 健, 東谷 篤志

この第23回超イオン導電体物性研究会は、2020年5月に開催予定でしたが、全世界に新型コロナがまん延したため延期を余儀なくされました。翌年の2021年夏には、東京オリンピックが盛況のうちに終わったことから、この研究会の開催に踏切りましたが、2022年2月には新型オミクロン株によって開催地大阪でも連日1万人を超える感染者を出すほどになっておりました。このような状況のため、参加者7名という寂しい研究会ではありましたが、温泉地にて対面形式の少し賑やかな議論が行われました。開催日の2月27-28日は幸いにして晴天に恵まれた小春日和で、コロナ対策の換気のため窓を開放していても会場は暖かな陽気につつまれたことは幸いでした。

発表数が少ない反面、ゆとりあるスケジュールにより大幅に超過した質問や議論が繰り広げられたことは、世話人として大変喜ばしい結果でした。

特別講演として京都大学・佐藤昌利先生による「トポロジーと物性」という表題でご講演いただきました。トポロジーという概念は純粋数学の領域ではありますが、数学概念の“群論”がこの後の物性に多大な影響を及ぼしたように、このトポロジーもまた大きな可能性を感じる学問領域の内容でした。イオン物性分野の将来を担う学生にこそ、この「トポロジーと物性」を聞いて欲しかったのですが、コロナ禍により学生が一人も参加出来なかったことが本当に残念です。

最後に、本研究会は日本物理学会、応用物理学会にご協賛いただき開催されました。



京都大学・佐藤昌利先生による特別講演



会場の様子

第47回固体イオニクス討論会報告

世話人 徳島大学 中村 浩一

「第47回固体イオニクス討論会」が2021年12月8日から10日まで、徳島市のあわぎんホールを現地会場として開催されました。徳島で固体イオニクス討論会が開催されるのは2000年以来のことです。また、昨年度に引き続きコロナ過での開催ということでこれまでとは違った討論会になりました。今回の開催にあたり、現地参加とオンライン参加を併用したハイブリッド開催を行うということで、様々な準備がぎりぎりまで行われましたが、運よくデルタ株の拡がり収束し、その後オミクロン株が拡がり始めるまでの時期にあたり、何とか現地でも皆様をお迎えすることができました。なお、現地参加の方には、感染対策の上で、各会場で講演会に参加していただきました。

今回の参加者は195名と例年に比べ少なかったものの、討論会の伝統でもある発表15分と討論10分の講演時間をとることができ、一般講演76件、特別講演2件を行うことができました。特別講演は熊本大学の安仁屋勝教授による「固体イオニクスの周辺分野から考えるイオン伝導機構」が現地での対面講演で、名古屋大学の入山恭寿教授による「蓄電固体デバイスの高性能化に向けた界面イオンダイナミクス」がオンライン講演にて行われました。会期中は連日、現地で65名の方が、オンラインではA会場で100名前後、B、C会場で40名前後の方が、それぞれの会場で講演を聴講し討論されていました。残念ながら、今回の討論会でも懇親会を行うことはできませんでしたが、現地にて参加された方は会場の内外で直接話しを交わされ、改めて対面での討論会の良さを感じられたことでしょう。

本討論会は、応用物理学会、高分子学会、電気化学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会のご協賛をいただき開催されました。また、東洋システム様、マイクロトラック・ベル様、KRI様、宝泉様、UNICO様、HORIBA様、ニッカトー様、フリッチュ・ジャパン様、北斗電工様にはホームページへのバナーや講演要旨集への広告などによりご協力をいただきました。次回の第48回固体イオニクス討論会は、東北大学の小俣孝久先生のお世話により宮城県で開催されます。次こそ、皆様が現地にて参加できることを心より願っております。

最後になりましたが、今回、固体イオニクス討論会で初めてのハイブリッド開催ということで不慣れなことも多々あり、行き届かず皆様方にご迷惑、ご心配をおかけしたこともあったかと思えます。この場をお借りしてお詫びするとともに、ご参加、および運営にご協力いただきました方々に、心よりお礼申し上げます。



ご講演される安仁屋教授と入山教授

第48回固体イオニクス討論会開催のご案内

日時：2022年12月6日（火）～8日（木）

場所：トークネットホール仙台（仙台市民会館）（仙台市青葉区桜ヶ丘公園4-1）
（<http://www.tohoku-kyoritz.co.jp/shimin/index1.html>）およびライブ配信のハイブリッド開催（ZOOM）

※活発な討論のために是非現地会場にお越しください。

主催：日本固体イオニクス学会

協賛：応用物理学会、高分子学会、電気化学会、日本金属学会、日本セラミックス協会、
日本鉄鋼協会、日本物理学会、SOFC研究会などを予定

討論主題

1. 新規なイオン導電性固体の創製と利用技術
2. 固体内イオン移動機構の解明
3. 電池・燃料電池材料の基礎

※2022年7月に開催されるSSI-23でのご発表内容も、ぜひご発表ください。

スケジュール(各締切日)

講演申込締切：2022年10月7日（金）

要旨提出締切：2022年11月4日（金）

事前参加登録締切：2022年11月7日（月）

参加登録費（カッコ内は事前参加登録締切後）

主催学会個人会員：5,000円（6,000円）

主催学会法人会員：5人まで無料、6人目から個人会員に同じ

協賛学会会員：7,000円（8,000円）

非会員（学生除く）：9,000円（10,000円）

学 生：3,000円（4,000円）

要旨集のみ：3,000円（3,000円）

懇親会：一般 7,000円（8,000円）

学生 2,000円（2,000円）程度を予定

（会場は江陽グランドホテルを予定）

問合せ先

第48回固体イオニクス討論会事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学多元物質科学研究所

小俣研究室 第48回固体イオニクス討論会事務局 田崎 亜希子

TEL：022-217-5215

e-mail：ssij48@grp.tohoku.ac.jp

URL：https://www.ssi-j.org/symp/ssij48/

第82回固体イオニクス研究会開催のご案内

研究会テーマ：「イオン伝導体の探索最前線」

主催：日本固体イオニクス学会

協賛：(予定、依頼中) 日本セラミックス協会、電気化学会

日時：2022年11月1日(火) 13時～18時

場所：東京工業大学大岡山キャンパスで対面のみで実施します。

コロナの感染状況によっては、オンライン開催となります。

参加費

本会会員(個人会員1,500円、法人会員5名まで無料、6名から個人会員と同じ)、

協賛学会会員2,000円、一般3,000円、学生500円

懇親会は行いません。

趣旨：イオン伝導体の探索で世界をリードする講師の方々に、新イオン伝導体発見の経緯、方法論、研究の最前線と将来展望についてお話しいただきます。キャリア(電荷担体)としては、ヒドリドイオン、ハロゲン化物イオン、酸化物イオンの順番で、また、酸化物だけではなく近年発展が著しい複合アニオン化合物など、多彩な新イオン伝導体の研究の最前線について知ることができます。

研究会プログラム案(発表25分、質疑応答25分、敬称略、仮題)

13:00 - 13:05 開会挨拶 日本固体イオニクス学会・会長 石原達己

13:05 - 13:55 理化学研究所 小林玄器

ヒドリドイオン導電体の物質開拓：これまでの成果と今後の展望

13:55 - 14:05 休憩

14:05 - 14:55 大阪大学 今中信人

ハロゲン化物イオン伝導性固体、なぜ、複合アニオン？

14:55 - 15:05 休憩

15:05 - 15:55 九州大学 石原達己

新規層状複合アニオン酸化物における酸素イオン伝導

15:55 - 16:05 休憩

16:05 - 16:55 東京工業大学 張文鋭

Dion-Jacobson型層状ペロブスカイト酸化物におけるイオン伝導性とイオン拡散機構

16:55 - 17:05 休憩

17:05 - 17:55 豊田中央研究所 田島伸

文献データと ensemble-scope descriptors を利用したマテリアルズインフォマティクスによる酸化物イオン伝導体の探索

17:55 - 18:00 閉会挨拶 東京工業大学 八島正知

申込方法

会場確保の関係上なるべく2022年9月21日(水)夜までに、以下のフォームからお申し込みください。2022年10月17日(月)までに参加費をお振込みください。申込開始予定は2022年8月1日(月)です。申込は10月14日(金)夜まで延長予定です。

<https://forms.gle/HyQJH2pcBPQx1sw9>

振込先：【みずほ銀行】本郷支店 普通2908222

一般社団法人日本固体イオニクス学会 フリガナ：「シャ）ニホンコタイイオニクスガッカイ」

問合せ先：東京工業大学 張文鋭

Email: zhang.w.ah@m.titech.ac.jp TEL&FAX: 03-5734-2331

世話人：東京工業大学 八島正知、張文鋭、藤井孝太郎

第16回固体イオニクスセミナー開催のご案内**1. 開催日時・場所**

- ・日時：2022年8月7日（日）14:00 ～ 8月9日（火）12:00
- ・場所：福島県飯坂温泉 福住旅館（福島市飯坂町字若葉町 27 番地）
(<http://www.fukuzumiryokan.com/>)
- ・主催：日本固体イオニクス学会

2. 内容

- ・固体イオニクスや物質科学に関するチュートリアル講演
- ・若手研究者および学生による研究発表（口頭発表）

3. 募集

人数： 50 名（お申込み多数の場合は、調整させていただく場合があります）

対象： 固体イオニクス、物質科学、固体化学に取り組む（これから取り組もうとしている）学生および研究者。コロナ感染症対策のため、ポスター発表を中止し、学生および若手研究者から広く口頭発表を募集いたします（一般参加者は聴講のみでも結構です）。内容は既発表の成果、未完成の研究でも結構です。また今回の若手講演は若手研究者の自己 PR の場であると位置付け、参加者から募集します。詳細は 下記セミナーHP よりご確認ください。

4. チュートリアル講演

「オペランド計測は本当に役に立つのか？」 雨澤 浩史（東北大学）

「イオン伝導度の粒子系理論計算の最先端」 館山 佳尚（物質・材料研究機構）

「第一原理計算で紐解く固体内プロトン伝導の微視的描像」 豊浦 和明（京都大学）

「高速プロトン伝導性ペロブスカイトの開拓」 兵頭 潤次（九州大学）

5. 参加費、宿泊費（※参加費、宿泊費ともに当日支払い。金額修正の可能性があります）

参加費：15,000 円（一般）、5,000 円（学生）

宿泊費：19,000 円（2泊3日）、10,000 円（1泊2日）（一般、学生とも同じ）

6. 申込（下記、セミナーHP よりお申し込みください）

参加申込：締切 7 月 8 日（金）

要旨提出：締切 7 月 15 日（金）

7. 問合せ・申込先

第16回 固体イオニクスセミナー世話人：中村 崇司 東北大学

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所

TEL.: 022-217-5341 FAX: 022-217-5343

E-mail: takashi.nakamura.e3@tohoku.ac.jp

Web: <https://www.ssi-j.org/symp/ssis16/index.html>

お知らせ

イベントの開催状況については随時更新しておりますので、お申込みやご参加の前に本会ホームページのご確認をよろしくお願いいたします。

〈 2022年 〉

(共催) 17th Asian Conference on Solid State Ionics (ACSSI-2020)

日 時：2022(令和4)年9月12日(月)～15日(木)

主 催：Asian Society for Solid State Ionics

場 所：ハイブリッド開催

(名古屋工業大学 NITech Hall (愛知県名古屋市昭和区御器所町))

詳 細：<https://acssi2020.chem.mie-u.ac.jp/index.html>

(協賛) 第63回電池討論会

日 時：2022(令和4)年11月8日(火)～10日(木)

主 催：電気化学会 電池技術委員会

場 所：福岡国際会議場 (福岡県福岡市博多区石城町2-1)

詳 細：<https://confit.atlas.jp/denchi63>

(協賛) 第63回高圧討論会

日 時：2022(令和4)年12月13日(火)～15日(木)

主 催：日本高圧力学会

場 所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市岩倉町2-150)

詳 細：<https://www.highpressure.jp/new/63forum/>

(関連国際会議) 23rd International Conference on Solid State Ionics (SSI-23)

日 時：2022(令和4)年7月17日(日)～22日(金)

主 催：International Society for Solid State Ionics

場 所：Boston Park Plaza Hotel, Boston, MA, USA

詳 細：<https://www.mrs.org/ssi-23>

〈 2023年 〉

(主催) 第49回固体イオニクス討論会

日 時：2023(令和5)年11月(予定)

場 所：北海道大学(予定)

世話人：北海道大学 忠永 清治 氏

(主催) 第2回計算イオニクス研究会 (第83回固体イオニクス研究会)

日 時：2023(令和5)年3月3日(金)

場 所：未定(名古屋または東海地区)

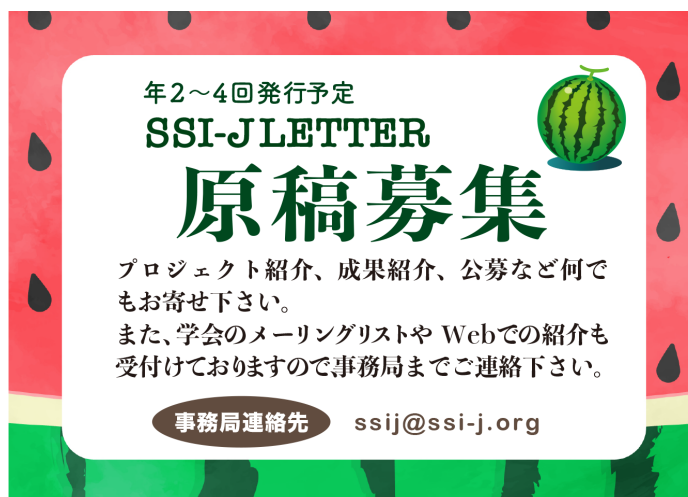
世話人：ファインセラミックスセンター 桑原 彰秀 氏

(新型コロナウイルス感染症の状況により、WEB開催のみに変更する可能性あり)

本年度年会費・連絡事項

2021(令和3)年10月1日より本学会の第10事業年度に入りました。今年度(2021(令和3)年10月1日～2022(令和4)年9月30日)の年会費を2022(令和4)年1月7日付で請求させていただきます。まだお振込みでない方は、1月にお送りした会費請求書に記載されている振込先に納入をお願いいたします(名誉会員の方を除きます)。

御所属や連絡先等の変更がございましたら、学会事務局まで至急ご連絡下さいますようお願い申し上げます。



一般社団法人 日本固体イオニクス学会事務局

〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学多元物質科学研究所 雨澤研究室内

Tel 022-217-5341

Fax 022-217-5343

Mail ssij@ssi-j.org

Web <https://www.ssi-j.org>